

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	ちばプロモーション協議会支援事業			会計	款	項目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課			
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	恩田 一成			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	商工団体、観光関連団体、市民（市内外）	意図	全県的な誘客促進に取組み、流山市への来訪を促進する。
事業内容	「観光立県」ちば推進ビジョンのもとに、観光に関わる事業者や商工団体、NPO、行政等が協働して持てる人材や資源を効果的に利活用して、千葉県の有する多様な魅力を全国に向けて広報宣伝し、千葉県観光のイメージの向上を図るとともに、より多くの観光客の誘致を実現していくことにより、観光産業の振興と各地域の活性化を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	平成19年9月20日に「ちばプロモーション協議会」が設立され、平成19年から21年度の3か年、集中的に全県のプロモーションを行ない観光客の誘引に取り組んできたが、さらなる観光客誘引を目的とし、平成24年までの延長が決まった。さらに24年度総会において、事業期間を平成28年3月31日までの延長が承認され、その後は、27年度総会において、32年3月31日までの延長が承認されたところである。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	ベイエリア・東葛飾地域における観光入込客数	56,135	58,044	59,099	人	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 千葉県全体として入込客数が徐々に増加してきている。しかし、房総方面が主であり、東葛方面においても、県民の日東葛まち歩きスタンプラリーなどの実施などにより入込客数が増えるようPRを実施中。
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		289,480	286,400	311,200			
事業費(b)(円)		10,000	10,000	10,000			
うち一般財源		10,000	10,000	10,000			
職員給与費(c)(円)		279,480	276,400	301,200			
人役・職員(人)		0.04	0.04	0.04			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	参加団体との交流を図り、相互活用することにより、流山市の観光を内外にアピールする。	③取組の課題	県内ローカル線の連携した各種事業（周遊ツアー）の商品化に結びつけるか。
②今年度(H27)に実施した取組	千葉県ローカル線連絡会の立ち上げ。	④今後の改善計画	鉄道事業者並びに沿線自治体との連携を強化し、旅行会社等への着地型旅行商品の売り込み（モニターツアーなど）を積極的に行い、商品化に繋げる。